



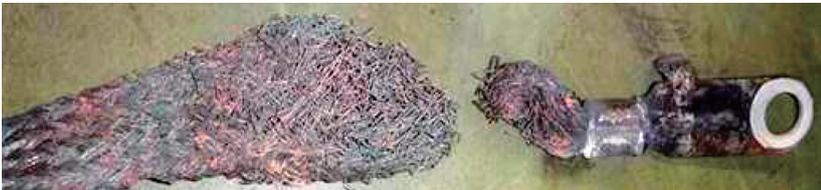
テクニカル・メッセージ

エンジンアース線点検・交換について

融雪剤散布量の増加や車両の長期使用等によりエンジンアース線が腐食・断線する場合があります。そのため、エンジンアース線の導通が悪くなり、エンジンが始動しづらくなったり、エンジン始動時の大電流が車両側の他部品であるパワーステアリングホースを通ることで発熱し、焼損・火災に至った事例があります。

点検整備時には、エンジンとフレームをつないでいるエンジンアース線についても確実に点検をお願いします。

完全にアース機能を失い火災に至った事例



参考:新品のエンジンアース線



腐食・断線すると、電流はエンジンアース線流れず、パワーステアリングホースに流れ込み、ホースが発熱・焼損する場合があります。

1. 対象車両

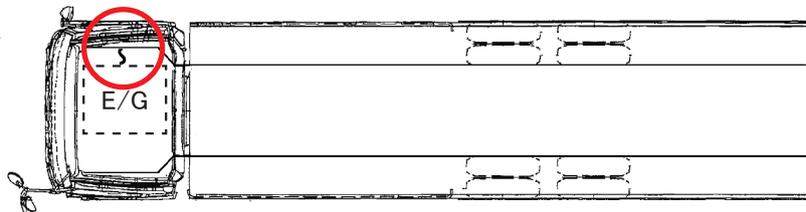
大中トラック・バス ※エンジンアース線のタイプが異なる車両があります。

2. 点検部位

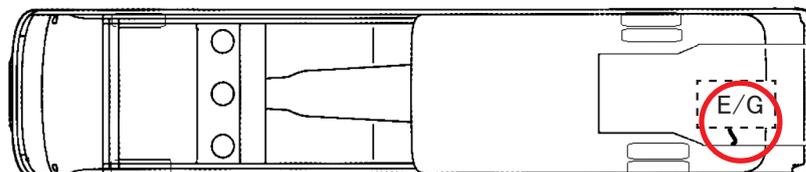
【エンジンアース線点検箇所】(下図○部分)

※年式・仕様により取り付け位置が異なります。

トラックの例▶



バスの例▶



3. 交換の目安

外観の状態	アース線の拡大	交換要否
正常なアース線 銀色 白色		<div style="text-align: center;">○</div> 交換不要です
長期使用で 腐食したアース線 緑錆 赤錆色 素線切れ 断線		<div style="text-align: center;">×</div> 交換が必要です

4. 点検のポイントと交換作業時の注意点

- ・エンジンアース線に腐食・素線切れ・断線等の異常を確認した場合、使用を継続せず、新品に交換してください。
- ・エンジンアース線に錆や損傷が見られたら、必ずパワーステアリングホースを確認し、オイル漏れやひびわれが無い点検し、異常があれば交換をしてください。
- ・エンジンアース線を交換する際は、締結部の汚れや錆等を除去してください。
- ・年式により特殊なボルトを使用している車両があります。その場合は一般のボルトを使用せず、正規ボルトをご使用ください。
- ・点検の結果、異常が無い場合でも、その後も定期点検時に確認を行ってください。

※ 点検方法やご不明な点がございましたら、最寄りの日野自動車販売会社までご相談ください。